

本書の使い方

■ 本書の流れ

Section 1

社会で起きている変化

STEP1 これまでの社会

現在の情報社会に至るまでの歴史を学び、これからの社会への課題を考えます

STEP2 これからの社会

現在の情報社会の課題や、これからの社会の状況や求められる力について知ります

Section 2

データ活用を知る

STEP1 データサイエンスの必要性

これから求められる力の1つであるデータサイエンスの必要性について理解します

STEP2 データ活用のプロセス

データを活用する際のプロセスを理解し、それぞれのプロセスで重要なことや注意点を知ります

Section 3

データを分析する

STEP1 データの活用事例に学ぶ

事例を用いてデータ活用のプロセスを体験します
使用する手法はSTEP2を確認します

STEP2 分析手法を知る

STEP1の事例の中で使われるさまざまな分析手法について知り、理解します

Section 4

データ活用を実践する

STEP1 公的統計を使って、都市計画に挑戦

Section3で体験したプロセスを参考に、オープンデータを使用してデータ活用を実践します

STEP2 作物統計から農業の現状を把握する

Section3で体験したプロセスを参考に、オープンデータを使用してデータ活用を実践します

Section 5

データを表現する

STEP1 分析結果を表現する

分析した内容を表現する方法や工夫を知り、活用できるよう理解します

■ 本書の学び

本書はデータサイエンスの入門書として、これから社会におけるデータ活用の必要性からデータ分析のやり方や表現の仕方までを学ぶ教材です。

Section1からSection5まで通じて学び、データ分析に必要な基礎的な知識、スキルを身に付けましょう。

- データ活用に関して、54問の練習問題を掲載。
練習問題を通じて各Sectionで学んだことを定着させましょう。
- 分析において便利な機能や役立つ情報を「One Point」として記載。
データ活用の学びを深めましょう。
- 各Sectionの学びに関する実践的で具体的な内容を「Column」にて掲載。
実践的なデータ活用のイメージを膨らませましょう。
- 巻末の索引を、わからない機能や語句が出てきた場合に活用しましょう。